

令和6(2024)年度「くにたち平和の日」事業等の取組について

市では、平成12年に制定した「国立市平和都市宣言」の告示日である6月21日を「くにたち平和の日」としており※、8月の原爆の日、終戦の日に向けて平和に関する事業を実施しています。

※「国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例」で規定

1. くにたち平和の日・平和推進週間

□くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話(広島原爆、長崎原爆)

6月22日(土)10:00～12:00 芸小ホール

市が認定した「くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者」が市内在住の広島・長崎の被爆体験者と東京大空襲体験者から受け継いだ体験と平和への思いを語ります。

□映画『くまのアーネストおじさんとセレスティーヌ』

6月22日(土)13:00～15:00 芸小ホール

くまの世界が広がる地上、ねずみの世界が広がる地下。まじわることなく対立した世界に住む“くまのアーネスト”と“ねずみの女の子・セレスティーヌ”が偶然出会って…。ベルギーの絵本作家 ガブリエル・バンサン氏の代表作「くまのおじさんとセレスティーヌ」シリーズのエッセンスが入ったもうひとつの物語。

□市長と語るタウンミーティング『日常と平和～くにたちから平和な世界を考える～』

6月23日(日) 10:30～12:00 矢川プラス

「日常と平和」をキーワードに『共に生きていける平和な世界のために「私たちに何ができるか?」』について、市の青少年国内交流事業「子ども長崎派遣」に参加した中学生や市内で学ぶ大学院生と市長が意見交換を行います。

2. ふつうの日になったのか 原爆の日展

□「8月6日と8月9日、原爆の日を忘れないための一行のコトバ」募集

広島と長崎に原子爆弾が投下されてから、今年で79年目を迎え、忘れてはならない出来事と伝え、平和を紡ぐため、「8月6日と8月9日、原爆の日を忘れないための一行のコトバ」を募集します。応募作品は選考し、選出された作品を8月に市内で開催する「ふつうの日になったのか 原爆の日」展として展示します。

□広島市立基町高等学校の生徒と被爆者との共同制作による「原爆の絵」

被爆者の記憶に残る被爆時の光景を広島市立基町高等学校の生徒が聴き取り描いた「原爆の絵」の複製画を展示します。

3. 平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワーク

□令和6年度第1回市長会議

5月24日(金)に「平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワーク市長会議」が開催され、永見市長が会長に再任されました。会議では、今後の連携方法の確認のほか、平和首長会議会長である松井広島市長に出席いただき、同ネットワークに期待することとして、「平和文化」の取組を全国に広げていくための協力について呼び掛けていただきました。